

観光・ブランドの総合的振興

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
1	大交流観光会議(仮称)開催費 [総合政策課]	平成19年度は、ぎふディスティネーションキャンペーン(ぎふDC)の実施、平成24年岐阜国体の内定など本県にとって観光振興の大きなチャンスであることから、そのための魅力ある地域づくりや広域的な交流連携の方法などについて議論するため、国内外の有識者を招き、本会議を開催 内容：基調講演、パネリストディスカッション等 参加者：県民、学生、行政関係者、観光事業者、地域づくり団体等 約500名 講師・パネリスト：観光に関し識見を有する著名人に加え、特に日本への旅行者が多い東アジア(中国、韓国、台湾)の日本向け旅行商品を扱う代理店の責任者等を招聘
2	若者連携地場産業ブランド力強化支援事業費 [ぎふブランド振興課]	優秀で意欲のある県内外の若者の能力・感性・アイデアを県内の地場企業に投入し、個々の企業が抱える商品開発、販路開拓、ブランド力向上等各種課題の解決を図る ・優秀でやる気のある若者の能力を一定期間投入し、企業の課題解決、業績向上につなげる 将来の若者の雇用に繋げる ・地場産業の活性化に意欲を有し、若者や企業にきめ細かい支援体制を提供できるNPOをプロポーザル方式により選定し、委託 <想定事業> 若者と地場企業の選定 ・セミナー開催等 企業改善計画の提案・策定 ・若者による企業改善計画の提案、専門家による助言 企業改善計画の実行 ・若者が策定した改善計画を企業とともに実行 ネットワーク構築機会の設定 諸経費、事務費
3	新市場開拓プロジェクトモデル事業費補助金 [ぎふブランド振興課]	県内企業の販売促進、利益確保、ブランド化を促進するため、「誂える(オーダーメイド)」という文化スタイルに標準をあてた潜在顧客開拓型のビジネスモデルを、オリベデザインセンターと県内企業が協働して推進 名称：「誂えるオリベ」プロジェクト 消費者直販型の市場展開をトライアル的に実施 ・補助先 (財)岐阜県産業デザインセンター <事業内容> ・販売インフラの整備 (WEB販売サイト企画立案・運営) ・オーダーメイド商品の開発 ・サービス普及のためのプロモーション
4	岐阜県ブランド戦略推進事業費 [ぎふブランド振興課]	「岐阜県ブランド戦略」に基づき、産業分野横断的かつその効果が全県的に波及する取り組みを重点的に展開 岐阜県ブランド戦略推進事業 戦略の進捗状況等のフォローアップを行う委員会等の設置

観光・ブランドの総合的振興

平成19年度当初予算 主な新規要求事業一覧

番号	事業名及び所管課	事業の概要
5	<p>県産品紹介・PR事業費 県産品普及啓発事業費 県産品発掘・認定事業費 [ぎふブランド振興課]</p>	<p>県産品紹介・PR事業費 県内外で開催される各種県主催等のイベントへの県産品 ブース出展経費の一部を負担し、消費者に対し岐阜県産 品の認知促進・PRを行う。 ・松坂屋上野店「岐阜県の物産と観光展」 ・松坂屋高槻店「岐阜県の物産と観光展」 ・岐阜高島屋「岐阜県物産展」 ・全日本実業団対抗女子駅伝 ・その他県内イベント2件</p> <p>県産品普及啓発事業費 県産品の認知度及びイメージ向上を図るため、優良メデ ィアを活用した各種広報戦略を展開 ・「FC岐阜」のパブリシティ活用 ・「ぎふDC」タイアッププロモーション展開 ・タイアップ広告・バナー広告 ・メールマガジン配信 ・県産品PR冊子作成(県産品全般) ・普及啓発品作成(PRグッズ)</p> <p>県産品発掘・認定事業費 県産品の看板商品にふさわしい商品の発掘・認定を行 い、県産品の販促や広報に活用できる商品群の充実を図 る ・新たな「飛騨・美濃すぐれもの」の発掘・認定 ・既認定88商品の現地確認検査</p>
6	<p>ぎふデスティネーション キャンペーン事業費 [観光交流課]</p>	<p>JR6社、旅行エージェンツ等の全面協力のもと、県、市 町村、地元観光団体等が連携し、全县をあげて大型キャン ペーンを開催 本県の観光資源を全国に紹介し、交流人口の増大を図る <デスティネーションキャンペーン事業> ・キャンペーン期間：H19.10月～12月 ・実施主体 ひだみの観光推進協議会 ・総事業費 ・事業内容 イベント、TVCM等広報、観光展開催等</p>
7	<p>食と農を考える県民運動 推進事業費 [農政課]</p>	<p>食料自給に対する県民の理解を高めるため、「食と農を考 える県民の会(仮称)」を設置し、一般県民によるサポ ーターとともに、県民全体で「食と農を考える運動」を展開 ・運営委員会(推進母体)開催 運営委員：農業団体、消費者団体等の実働できる 部長クラスや活動実践者から人選 ・県民サポーターの募集登録 ・県下の各取組について情報収集、発信 ホームページやメールマガジンを活用 ・啓発セミナー開催</p>
8	<p>新ハツシモ普及推進事 業費 [農産園芸課]</p>	<p>「新ハツシモ」の導入を前に生産者や卸業者等に対して、 新ハツシモの特性や食味理解促進する等 平成22年度の全面切替に向けた普及対策 新ハツシモ普及検討委員会開催 ・卸業者、全農、農協、米麦改良協会、行政等の会合 「新ハツシモ」栽培技術実証(3箇所) ・ハツシモの採取組合へ委託 「新ハツシモ」精米・炊飯試験の実施 ・卸業者や分析機関による試験・評価</p>